

令和7年度（2025年度）県立水俣高校における 学科改編について

このことについて、別紙のとおり定めることとする。

（提案理由）

県立高等学校あり方検討会提言の取組の一つに掲げられている、地域のニーズに応える学科等の設置検討にあたり、熊本県教育委員会の権限に属する事務の委任に関する規則第2条の規定により、教育委員会において、県立水俣高校における半導体関連学科の名称等を決定し、設置に向けた準備を開始する必要があるため。

参考：関係法令条項

●熊本県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則

（平成20年熊本県教育委員会規則第5号）

（委任）

第2条 教育委員会は、次に掲げる事務を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

(1)～(25)（略）

2 教育長は、前項各号に掲げるもののほか、重要又は異例に属する事務については、教育委員会に付議しなければならない。

県立水俣高校における学科改編について

令和6年（2024年）5月7日

高校教育課

1 概要

熊本県立水俣高等学校の電気建築システム科(電気コース・建築コース)1学級を、半導体関連学科と建築関連学科に改編する。

なお、本学科の名称を提案するとともに、電気建築システム科(電気コース)を半導体情報科、さらに電気建築システム科(建築コース)を建築科に改編する。

2 改編の理由

県立水俣高校は、再編整備後の開校（H24年度）以来定員割れが続いており、入学者の確保について、厳しい状況が続いている。

これからの高校の将来を見据えると、さらなる魅力ある学校づくりの取組みが必要であり、地元水俣市や企業、小中学校等地域との連携強化が重要である。

昨年11月に、教育長を立会人として、株式会社アスカインデックス、水俣市、県立水俣高校の3者による「半導体関連人材の育成を通じた水俣市の活性化及び水俣高校の魅力向上に関する連携協定」を締結し、相互に連携・協力しながら、半導体に係る教育活動の展開や人材の育成を図るとともに市の活性化にも資することとした。

これらを踏まえ、県立高等学校あり方検討会提言の取組の一つにも掲げられている、地域のニーズに応える学科の設置検討に基づいて、県立水俣高校に半導体関連学科を設置する。併せて建築関連学科を設置する。

具体的には、半導体関連学科の名称を「半導体情報科」とし、産学官連携の強化を図り、半導体製造のプロセスを理解するとともに、半導体の知識・技術を学び、半導体が主役である高度情報化社会に対応するべく、情報・データを活用できる力を身につけ、幅広い産業界で活躍できる人材の育成を目指す。

また、建築関連学科の名称を「建築科」とし、建築を含む建設業のデジタル技術の進展に対応すべく、DXの視点を取り入れた学習活動と基礎的な技術・技能を身につけるとともに、地元自治体や企業等と連携を図りながら、実践的な学びに取り組み、地域社会の活性化に貢献できる人材の育成を目指すものとする。

3 施行日

令和7年（2025年）4月1日

【参考】株式会社アスカインデックスは、半導体実技総合大学校（旧名：半導体実務研修センター）の研修プログラムにより体験型研修などの育成事業を展開している。